

令和3年3月29日

令和2年度「経営者の実像に迫る」アンケート 「コロナ禍での生活（年始年末の過ごし方など）」について

■調査概要

調査期間：令和2年12月7日（月）～12月20日（日）

調査方法：全法連アンケート調査システム

回答者数：1,448人

（アンケート送信者6,947人、回答率20.8%）

※全ての質問の割合は四捨五入しているため、

合計は必ずしも100.0にはならない。



公益財団法人 全国法人会総連合

調査目的・回答者属性

調査目的

当会では「経営者の実像に迫る」との切り口で、会員である企業経営者を対象としたアンケートを実施しています。このアンケートは、多様な年代・地域・業種の経営者が集まった法人会の特色を活かして、毎回様々なテーマでアンケートを実施しています。

令和2年度のテーマは「コロナ禍での生活（年末年始の過ごし方など）」についてです。

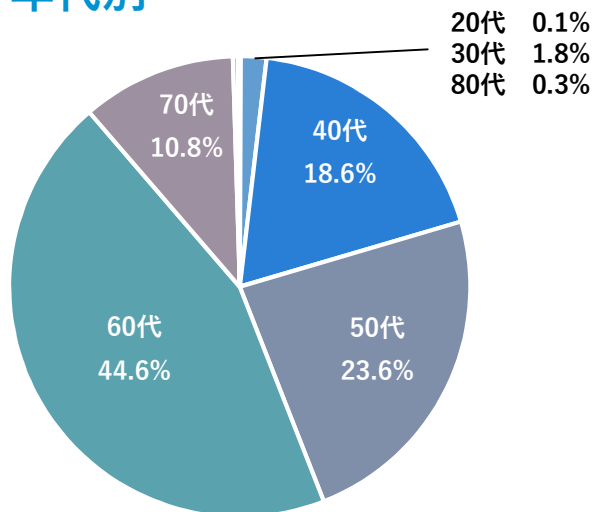
2020-2021年の年末年始は、新型コロナウイルスの感染が日本で拡大してから初めての年末年始であり、この異例な状況下での年末年始、経営者はどのように過ごし、消費、行動、営業日に変化があったのかを調査し、経営者の実像に迫りました。

※当アンケートは日本標準産業分類の大分類に基づき、以下の4グループに区分しています。

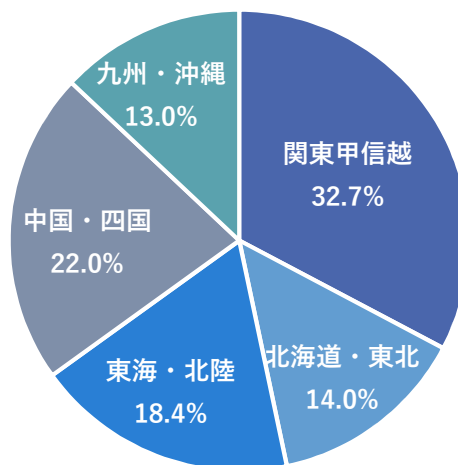
農林漁業・鉱業 : A農業,林業 B漁業 C鉱業,採石業,砂利採取業
建設・製造・工業 : D建設業 E製造業 F電気・ガス・熱供給・水道業
情報・流通・販売業 : G情報通信業 H運輸業,郵便業 I卸売業,小売業
J金融業,保険業 K不動産業,物品賃貸業
サービス関連業 : L学術研究,専門・技術サービス業
M宿泊業,飲食サービス業
N生活関連サービス業,娯楽業 O教育,学習支援業
P医療,福祉 Q複合サービス事業
Rサービス業（他に分類されないもの）
S公務（他に分類されるものを除く）

回答者属性

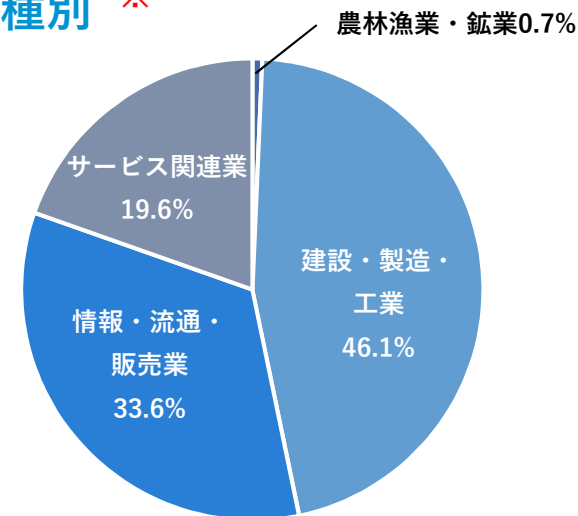
年代別



地域別



業種別 ※

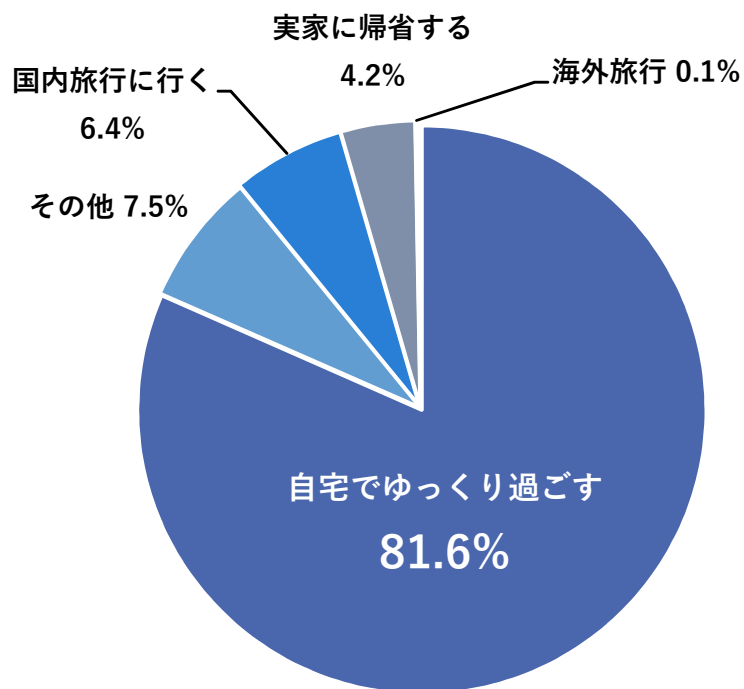


Q. 年始年末は、どのように過ごす予定ですか。

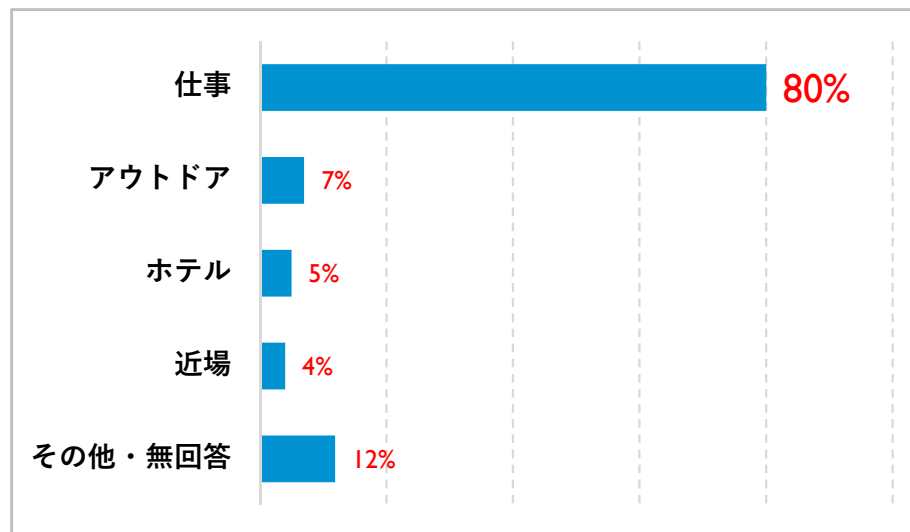
8割は「自宅でゆっくり過ごす」と回答

年末年始の予定では、実に8割が自宅でゆっくり過ごすとの回答であった。次点でその他、国内旅行、実家に帰省が続いたが、初めて迎えるコロナ禍の年始年末は、自宅で過ごすという回答が大多数であった。

また、その他の回答内訳の8割は「仕事」と回答があり、外出する場合も近場などの回答が多かった。

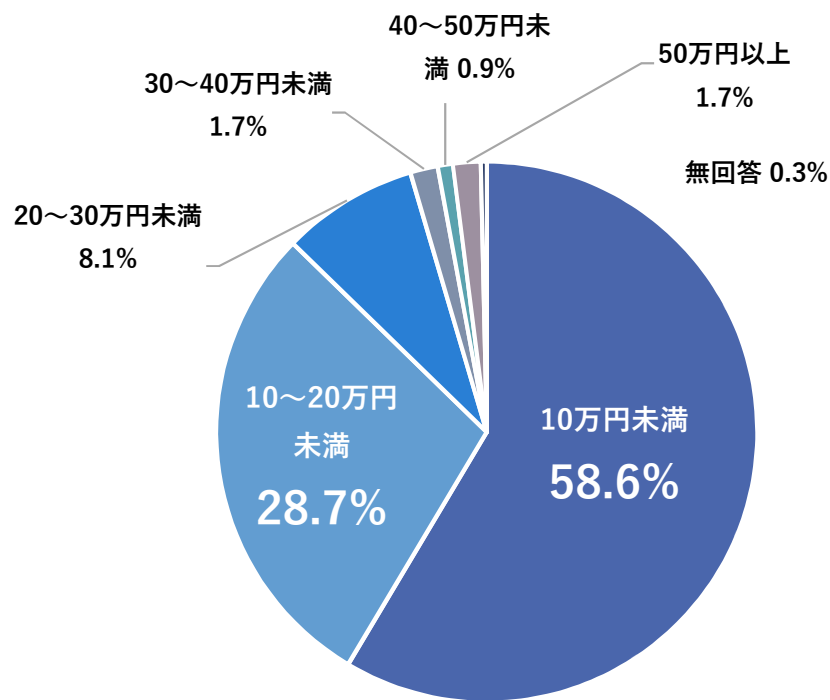


その他・回答内訳

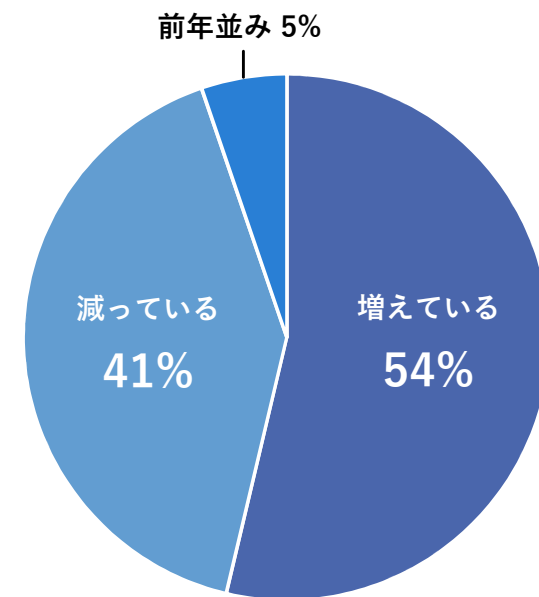


年末年始の生活費以外の使用金額と、前年との比較

Q.年末年始は、普段の生活費とは別にどのくらいの金額を使う予定ですか。



Q.年末年始に使う予定の金額は、前年と比べ増えていますか、減っていますか。



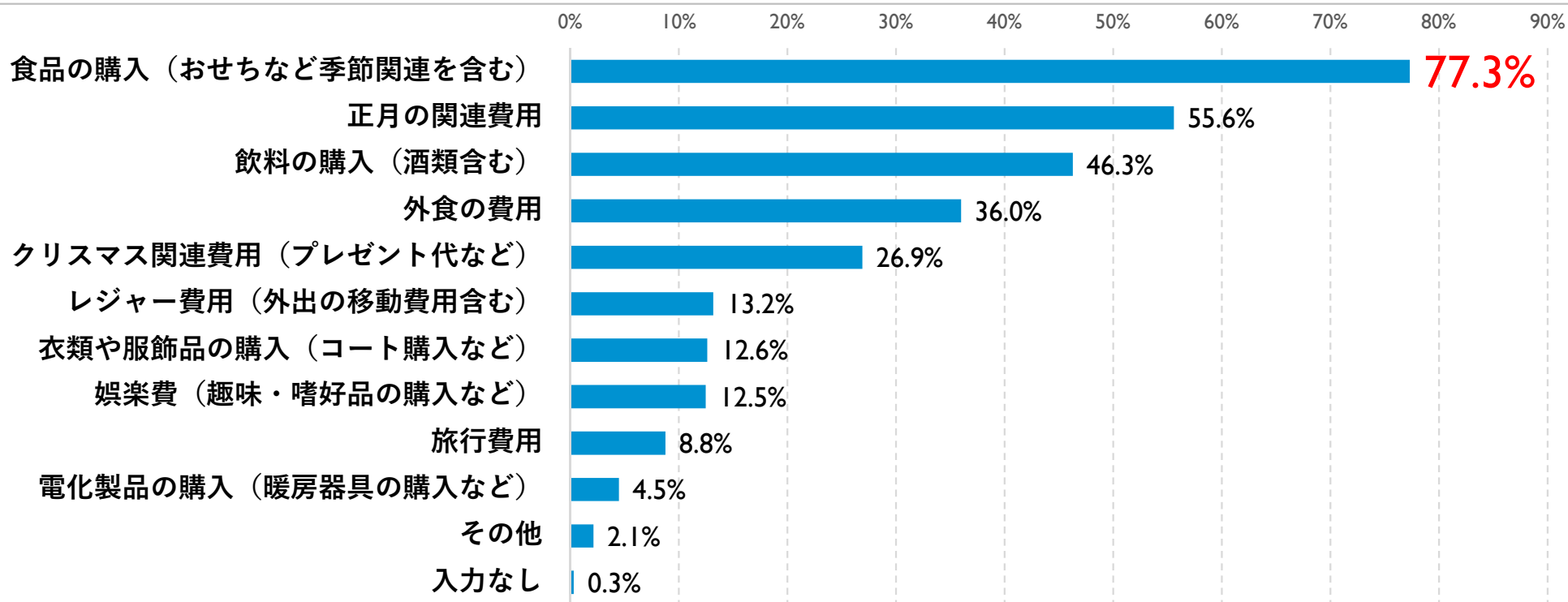
年末年始は普段の生活費とは別にどのくらいの金額を使う予定かの設問に対しては、10万円未満の回答が6割弱、次点で3割弱が10～20万円未満であった。また、年始年末に使う予定金額は前年に比べて5割は増えた、4割は減ったとの回答があり、二極化の様相を呈した。

Q. 上記で回答された金額の主な使い道は何ですか。

8割近くが「食品の購入」を回答

(複数回答可能)

金額の主な使い道では、8割近くが「食品の購入（おせちなど季節関連を含む）」を回答しており、次に「正月の関連費用」が5割超、飲料の購入（酒類含む）が4割超、外食の費用が3割越えと続いた。外出できない分「巣ごもり需要」の高まりで、食料品関連に出費する人が多かったと推測できる。



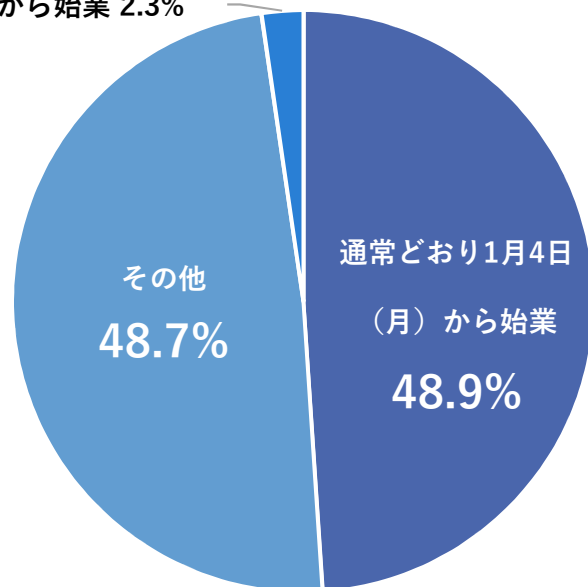
Q. 年始はいつから仕事始めの予定ですか。

約半数は1月4日から仕事始めだが、残り半数は多様な始業日、業務形態である

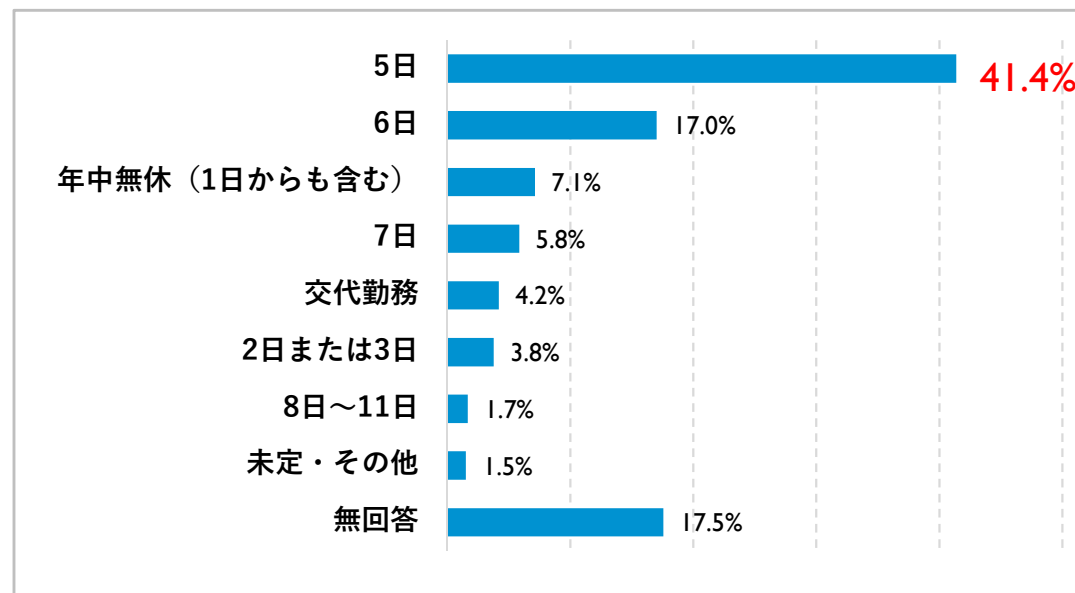
年始の仕事始めの予定については、約半分が1月4日から始業との回答があった。その他の回答では5日からが多く、始業日は同じでも在宅勤務、時差通勤、分散出勤を取り入れるなど、新型コロナウイルス感染症対策として出勤者数の削減に努める企業も多く見られた。また、業種によって年中無休やシフト勤務など多様な回答があった。

政府の働き掛けに応じて1月12日

(火) から始業 2.3%



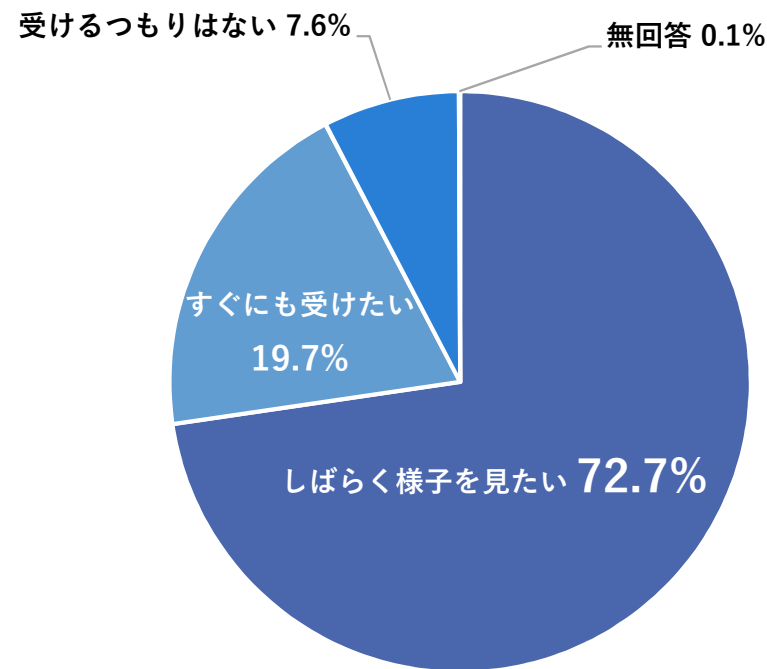
その他・回答内訳



Q. 新型コロナのワクチン接種の費用無料などを盛り込んだ改正予防接種法がこのたび成立しましたが、開始後に接種を受けますか。

7割がしばらく様子を見てから接種したいとの回答だった

新型コロナのワクチン接種の費用無料などを盛り込んだ改正予防接種法が成立、開始後に接種を受けるかどうかの設問に対して、7割超は「しばらく様子を見たい」、「すぐにも受けたい」が2割弱、「受けるつもりがない」は1割未満の回答であった。



税を味方に、強い経営を。

